

2023年度

事業報告書

2023(令和5)年4月1日



2024(令和6)年3月31日

2023年度事業報告について

第一部 西南女学院の概要

1. 法人の概要	...	3
2. 設置する学校の概要及び教育目的	...	3
3. 主要行事	...	5
4. 宗教教育活動	...	6
5. 学生・生徒・園児	...	11
(1) 志願者数 (2) 在籍者数 (3) 卒業生数		
6. 教職員組織	...	13
(1) 教職員数 (2) 組織図		
7. 役員	...	18
8. 評議員	...	19
9. 理事会議案及び決議	...	20

第二部 事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要	...	23
2. 財務の概要(2023年度予算の主な執行状況)	...	25
(1) 資金収支計算 (2) 事業活動収支 (3) 貸借対照表		
(4) 学生数・財務比率などの推移		

学校法人西南女学院

2023年度事業報告について

2024年5月

学校法人西南女学院

理事長 向 雅彦

西南女学院は、1899年から20年間にわたり熊本で宣教活動を行った米国南部バプテスト海外伝道局宣教師L. D. クラーク師の祈り「日本婦人に教育と伝道を」を継承し1922年4月、J. H. ロウ宣教師によって「キリスト教に基づく女子教育を行うこと。」を目的として創立されました。以来、今日まで皆様のご支援を賜り2023年4月18日には、創立101年目を迎えることができました。ひとえに西南女学院を信頼し、学生、生徒、園児を西南女学院におくってくださいます保護者の皆様と地域の皆様の深いご理解の賜と感謝いたしております。

本学院では、「学校法人西南女学院 中期計画 Mission「要」(2022-2026)」を掲げ、①教育の質保証、②財政基盤の安定、③地域社会との共生を柱とした学校運営を行っているところでございます。本学院で学ぶ皆さんに学びによる自らの成長を実感していただけるよう、教育内容や教育体制が本学院の教育理念に照らして不断に検証しながら、時代にふさわしい教育・研究活動を通じて「感恩奉仕」の精神を身に着けた有為な女性を社会に送り出し続けています。

当年度は、大学及び短期大学部において公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し2024年3月に「評価機構が定める評価基準に適合している」と認定されました。このことは公共性を有する教育機関として、個性と特徴を持ち建学の精神を踏まえて使命と目的の達成に向けた教育・研究活動を実現していることを社会に表明できたと確信するものであります。中学校・高等学校では、聖書に基づく人間観、社会観、人生観、生命観、倫理観等を教え育む教育を行うことを念頭に、生徒自身の目的を達成できるよう教育を継続しています。高等学校進路につきましては国公立をはじめ難関私立大学に合格しました。幼稚園では、聖書に基づく人間観、社会観、人生観、生命観、倫理観等を教え育む教育内容が地域のご家庭にご支持をいただいております。

さて、短期大学部は、1950年学校教育法における短期大学の制度創設と同時に設立し、女性の高等教育の普及や実践的職業教育の場として大きな役割を果たしてまいりましたが、18歳人口の減少と4年制大学志向など近年の社会状況の変化による影響は大きく、短期大学部の今後について慎重に検討を重ね誠に残念ではありますが、3月理事会において2025年度以降の学生募集を停止することを決定いたしました。今後は、短期大学部保育科が担ってきた使命とこれまで築いてきた実績を西南女学院大学保健福祉学部福祉学科の新コース（発達支援、障害児支援、心理支援等が学べる保育者養成コース）が発展的に継承する形で受け継ぎ、保育者養成に対する社会的要請に応じてまいる所存でございます。

2023年度の事業及び決算につきましては、教育研究における重点分野及び学生生徒の人員等について事業計画を立て実施してまいりました。本報告書の「第二部 事業の概要・財務の概要」において詳細をご報告申しあげておりますのでご高覧ください。

西南女学院といたしましては、今日の就学事情や社会の構造的な変化に伴い、経営の安定化について、意識を強く持ち学校経営を行うことがますます必要になったと考えておりますが、学生、生徒、園児並びに保護者の皆様からのご満足を頂けることを第一義とした教育に専心してまいります。

これからも主のご恩寵に感謝し、西南女学院でなければならない特色ある女子教育の実践として、教育の質の向上、環境の整備、一人ひとりを大切にする教育に邁進する所存でございます。関係の皆様には、今後ともご後援賜りますようお願い申しあげ、2023年度の事業報告とさせていただきます。

第一部

西南女学院の概要

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「感恩奉仕」

神さまをはっきりと心に宿せば宿すほど、私たちの心に“有難い”という感じが湧いてきます。家族がどれほど有難いものか、この世界に生まれたことがどれほど有難いものかがよく解ってきます。“有難い”との感が起こると、進んで親のために兄弟のために又は社会のために小さい事でも出来る限り働いて差し上げようとの感じが起こってきます。この“有難い”という気持ちを西南女学院では『感恩』といい、他者のために働く事を『奉仕』といいます。

この理念は、学生・生徒・園児の教育理念であると同時に、西南女学院の教育活動に参画している全ての職員の職務理念であります。

西南女学院は、キリスト教に基づく使命感、優れた教養と知識と技能をあわせもつ女性を育成するために、各学校の一層の充実を図りながら総合的な学園として発展し続けています。

(2) 沿革

1922(大正11)年	西南女学院設立(5年制高等女学校)
1938(昭和13)年	財団法人西南女学院設立
1946(昭和21)年	西南女学院専門学校設置(英語科・生活科)
1947(昭和22)年	学制改革により西南女学院中学校設置
1948(昭和23)年	学制改革により西南女学院高等学校設置
1950(昭和25)年	西南女学院短期大学設置(英語科・家政科)
1951(昭和26)年	学校法人西南女学院設立
1952(昭和27)年	西南女学院幼稚園設置
1958(昭和33)年	西南女学院短期大学保育科設置
1971(昭和46)年	西南女学院短期大学食物栄養科設置
1994(平成6)年	西南女学院大学保健福祉学部設置
2002(平成14)年	西南女学院大学保健福祉学部栄養学科設置(短期大学食物栄養学科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院大学人文学部人文学科設置(短期大学英語科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院短期大学家政科を生活創造学科に名称変更
2003(平成15)年	西南女学院短期大学英語科、食物栄養科廃止
2004(平成16)年	西南女学院短期大学を西南女学院大学短期大学部に名称変更
2004(平成16)年	西南女学院短期大学附属シオン山幼稚園を西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に名称変更
2006(平成18)年	西南女学院大学人文学部英語学科及び観光文化学科設置(人文学部人文学科を改組)
2008(平成20)年	西南女学院大学助産別科開設
2018(平成30)年	西南女学院大学短期大学部生活創造学科廃止
2022(令和4)年	西南女学院創立100周年記念式典挙行

2. 設置する学校の概要及び教育目的

※括弧内の数字は2022年度収容定員

(1) 西南女学院大学

西南女学院大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、キリスト教を教育の基盤として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性を涵養し、もって人類の福祉と文化の発展とに貢献する有為の人物を育成することを目的としています。

□ 保健福祉学部

保健福祉学部は、豊かな教養と倫理観を培い、看護、福祉、栄養の知識と技術を教授し、専門職者としての実践力と協働力を育むとともに、平和を愛するグローバルな視野をもって人々の幸福、地域と社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。

■ 看護学科(360)

看護学科は、看護に関する専門的知識、技術を修得し、看護実践者として、保健、医療、福祉、教育等の幅広い分野で地域や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 福祉学科(320)

福祉学科は、ヒューマンサービスの専門職に必要な知識・技術を修得し、想像力と創造力をもって、福祉、教育、保育等の幅広い分野で地域や社会に広く貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 栄養学科(400)

栄養学科は、「人」と「食」の両面より、栄養に関する専門的な知識・技術を総合的に理解・修得し、保健、医療、福祉などの幅広い分野において、人々の健康の保持増進、疾病の予防・治療に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 人文学部

人文学部は、豊かな人間性を養い、礼節を身につけ、専門的能力をもってグローバル化、情報化が進む国際社会及び地域社会において主体的に活動し、貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 英語学科(240)

英語学科は、異文化理解を踏まえた英語によるグローバル・コミュニケーション能力をもち、国際的視野と地域的視野に立って思考し、自主的に行動できる有能な人材を育成することを目的としています。

- 観光文化学科(240)

観光文化学科は、語学力を基礎として、グローバル化する社会において、自らを客観的に認識する視点をもち、異文化理解、国際社会理解ができ、ツーリズムと地域の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 助産別科(16)

助産別科は、助産の対象である女性、乳幼児及びその家族を全人的に理解するとともに、助産の知識と実践力を有し、専門職として自立した助産師を育成することを目的としています。

(2) 西南女学院大学短期大学部

西南女学院大学短期大学部は、キリスト教を教育の基本として女子に高い教養を授けるとともに生活に必要な専門の教育を施し、よき社会人を育成することを目的としています。

- 保育科(200)

保育科は、豊かな教養と専門知識をもって、自ら思考し判断できる保育の専門家を育成することを目的としています。

(3) 西南女学院高等学校 全日制課程 普通科(480)

西南女学院高等学校は、キリスト教に基づき女子の人格完成を旨とし、教育基本法、学校教育法及びその他の教育に関する法令により高等普通教育を行うことを目的としています。また、入学者のうち西南女学院中学校を卒業した者に対して、その中学校における教育とあわせた中高一貫教育（併設型高等学校）を行います。

(4) 西南女学院中学校(240)

西南女学院中学校は、キリスト教に基づき心身の発達に応じて、女子の人格を養成することを旨とし、教育諸法令に則り、西南女学院高等学校における教育を合わせた、中高一貫教育（併設型中学校）を行うことを目的としています。

(5) 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園(180)

西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園は、教育基本法、学校教育法並びに幼稚園教育要領に基づき学齢未満の幼児を、キリスト教精神をもって保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的としています。あわせて、西南女学院大学短期大学部の附属施設として、幼児教育に関する研究並びに保育科学生の実習機関としての役割を果たしています。

3. 主要行事 2023(令和5)4.1~2024(令和6)3.31

- | | |
|---|---|
| <p>4.3 辞令交付
 新任職員オリエンテーション
 新任職員オリエンテーション聖書学課</p> <p>4 大学・短期大学部入学式</p> <p>6 中学・高校始業式</p> <p>7 短期大学部前期授業開始
 中学入学式
 高校入学進級式
 幼稚園始園式</p> <p>10 大学前期授業開始</p> <p>13 幼稚園入園式</p> <p>18 創立101周年記念式典</p> <p>20 第1回学院聖書学課</p> <p>5.10 短期大学部ミッションデー</p> <p>12 大学ミッションデー</p> <p>17 短期大学部ミッションデー</p> <p>18 大学ミッションデー</p> <p>19 墓前祈祷会</p> <p>20 体育祭</p> <p>24 常任理事会、理事会、評議員会</p> <p>6.8 中学・高校ミッションマンス①</p> <p>15 大学・短期大学部入学者選抜説明会
 中学・高校ミッションマンス②</p> <p>22 中学・高校ミッションマンス③</p> <p>23 大学・短期大学部ナイトオープンキャンパス</p> <p>24 保育科オープンキャンパス</p> <p>7.9 大学・短期大学部オープンキャンパス</p> <p>15 大学・短期大学部オープンキャンパス(16日迄)
 中学・高校オープンスクール</p> <p>20 第2回学院聖書学課
 中学・高校終業式
 幼稚園終園式</p> <p>8.8 職員研修会(幼稚園)</p> <p>18 職員研修会(中学・高校)</p> <p>19 大学・短期大学部オープンキャンパス</p> <p>22 職員研修会(大学・短期大学部)
 中学・高校始業式</p> <p>26 高校オープンスクール</p> <p>28 幼稚園始園式</p> <p>29 職員研修会(事務・労務)</p> <p>30 常任理事会</p> <p>9.15 常任理事会、評議員会、理事会</p> <p>23 助産別科推薦選抜</p> <p>25 大学・短期大学部後期授業開始</p> <p>28 大学前期末卒業式</p> <p>30 保育科オープンキャンパス
 幼稚園運動会</p> | <p>10.4 辞令交付</p> <p>11 中学・高校ミッションウイーク①</p> <p>12 中学・高校ミッションウイーク②</p> <p>13 中学・高校ミッションウイーク③</p> <p>14 高校オープンスクール</p> <p>19 第3回学院聖書学課</p> <p>21 大学・短期大学部総合型選抜、助産別科一般選抜、
 短期大学部特待生選抜</p> <p>28 大学祭(29日迄)</p> <p>29 大学・短期大学部オープンキャンパス</p> <p>11.4 中学・高校オープンスクール</p> <p>8 短期大学部ミッションデー</p> <p>9 大学ミッションデー</p> <p>15 短期大学部ミッションデー</p> <p>16 大学ミッションデー
 中学・高校クリスマスツリー点灯式</p> <p>17 大学公募等推薦選抜、社会人・外国人留学生選抜</p> <p>18 大学指定校・併設校推薦選抜
 短期大学部学校推薦型選抜、社会人・外国人留学生選抜</p> <p>24 常任理事会、理事会、評議員会</p> <p>29 大学・短大クリスマスイルミネーション点灯式</p> <p>12.7 第4回学院聖書学課</p> <p>8 幼稚園クリスマス礼拝</p> <p>13 常任理事会、理事会</p> <p>14 中学・高校クリスマスツリー礼拝
 幼稚園クリスマス祝会</p> <p>19 大学・短期大学部公募推薦選抜②、総合型選抜②、
 大学編入学選抜</p> <p>21 大学・短大クリスマス礼拝</p> <p>22 中学・高校終業式
 幼稚園終園式</p> <p>23 大学・短期大学部冬期休業(1月3日迄)</p> <p>1.4 大学・短期大学部後期授業再開
 中学前期入学試験</p> <p>9 中学・高校始業式
 幼稚園始園式</p> <p>19 高校推薦入学試験</p> <p>30 高校一般入学試験</p> <p>31 大学・短期大学部一般選抜(前期)</p> <p>2.3 中学校後期入学試験</p> <p>7 辞令交付</p> <p>9 幼稚園生活発表会</p> <p>15 第5回学院聖書学課</p> <p>3.1 中学・高校卒業式</p> <p>2 大学・短期大学部一般選抜(中期)</p> <p>9 幼稚園卒園式</p> <p>13 常任理事会</p> <p>18 大学・短期大学部一般選抜(後期)</p> <p>19 大学・短期大学部卒業証書・学位記授与式
 中学・高校終業式</p> <p>21 理事会、評議員会</p> <p>22 幼稚園終園式</p> <p>23 大学春のオープンキャンパス</p> <p>29 辞令交付</p> |
|---|---|

4. 宗教（キリスト教）教育活動（2023年度学院宗教委員会報告より抜粋）現状と展望

(1) 2023年度 年間主題と年間聖句、月間主題と月間聖句

年間主題 「愛を身に着けて生きる」

年間聖句 これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。
コロサイの信徒への手紙3章14節

【教育:4-7月】

4月「学院の教育の原点」

イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」
ヨハネによる福音書8章12節

5月「学院の教育の継承」

心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば 主はあなたの道筋をまっすぐにごくださる。
箴言3章5-6節

6月「学院の女子教育」

「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。」
ヨハネによる福音書15章12節

7月「学院の礼拝」

あなたの御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯。 詩編119編105節

【世界を覚えて 8-11月】

8月「平和」

これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。
ガラテヤの信徒への手紙5章22-23節

9月「基本的人権」

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」
マタイによる福音書25章40節b

10月「環境と生活」

主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに伴い 魂を生き返らせてくださる。 詩編23編2-3節 a

11月「世界にある格差を覚えて」

「そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。」
マタイによる福音書18章14節

【喜び 12-2月】

12月「キリストの誕生」

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」
ルカによる福音書2章11節

1月「キリストにある希望」

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満ちし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。

ローマの信徒への手紙15章13節

2月「魂の深まり」

思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心に掛けてくださるからです。
ペトロの手紙一 5章7節

【派遣 3月】

3月「世界に向かって羽ばたく」

「わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに羊を送り込むようなものだ。だから、蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい。」
マタイによる福音書10章16節

(2) 全体的総括と展望

2023年度は「愛を身に着けて生きる」を年間の主題とし、聖句はコロサイの信徒への手紙3章14節「これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。」であった。教育の業において知識の習得はもちろんのことであるが、神に愛された者として他者に寄り添ってこそ、それらすべてが人を生かし、自分をも生かしていく学びとなっていくことを心に携えて歩ませていただいた一年であった。

2022年度創立100周年を迎えることができたことは、とりもなおさず主のご恩寵によるものであったことを深く覚えつつ新たな一歩を踏み出したこの年も主の守りの中にあつたことを今一度感謝をもって心に留めたい。

新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたこともあり、徐々にはあるが、あらゆる活動において、従来のスタイルが取り戻せてきたのではないかと日々感じているところである。同時に、これまで当たり前のように過ごしてきた「日常」がどれだけ感謝すべきことであるのかを痛切に感じ、小事に見えることでも心を注ぐことを忘れてはならないと教訓を与えられた次第である。

未だ絶えることのない世界における戦争、また国内においての災害のニュースを聞く度に心痛む思いであるが、そのような中で今この瞬間にも助けを求め叫んでらっしゃる方々に思いを馳せ、今私たちにできることを考えて祈り、主がおっしゃる「愛を身に着けなさい」という言葉を改めて噛みしめたいと思う。そして、建学の精神「感恩奉仕」を単に標語的に見るのではなく、真に生きる言葉として受けとめ、更に歩み続けたい。

尚、各所属における宗教教育及び活動取り組み実績については、以降に記すものとする。

<各所属の主な宗教教育>

◎本部キリスト教センター

キリスト教センターは、「ミッション活動の拠点」として「建学の精神を高揚し具現化する」ことを通して「学院の発展に資する」ことを設立目的とする(キリスト教センター規則第2条)とあるように、学生・生徒・園児がキリスト教に関心を持ち、建学の精神「感恩奉仕」の精神を価値基準として、神と人とに仕える人となれるよう、キリスト教教育活動を行っている。キリスト教センターの活動範囲は全学院に及ぶ。詳細は以下のとおりであり、その一つ一つにおいて主の御旨に合うものとなることを常に祈り、整えられ、活動が豊かに守られたことに感謝したい。

今後は、各校を超えて全学的にキリスト教教育を拡充していけるような交流の推進、そして日本バプテスト宣教師の方々との関係強化を図ること等を通して、神の愛に基づく人間形成、そして感恩奉仕の具現化を目指していきたい。

1. 祈りと学び

- 新任職員オリエンテーション聖書学課: 新任職員に西南女学院の建学の精神とその根幹であるキリスト教の価値観と基礎的知識を提供する場であり、約1時間半の短い時間の中で実施した。
- 学院聖書学課(年5回): 全職員が等しく集まり、礼拝をもって神を讃美し、キリスト教についての理解と学院で働く意義をより深める学びの場として実施した。詳細は以下のとおり。

回	月日	奨励者	主題・聖書	司会	奏楽
1	4/20 (木)	本山 大輔 氏 日本バプテスト連盟 豊前キリスト教会牧師/ 西南女学院大学キリスト教 学非常勤講師	「待つこと・聴くこと」 マルコによる福音書 14章32～38節	東 彩子 キリスト教センター長 /大学・短期大学部 宗教主事	文屋 典子 大学福祉学科講師
2	7/20 (木)	佐藤 清一 氏 日本バプテスト苜田キリスト 教会牧師/女学院評議員/ 中学校・高等学校聖書科非 常勤講師	「山は動く」 マタイによる福音書 21章18～22節	松下 範枝 中学校・高等学校 副校長/宗教部長	金谷 めぐみ キリスト教センター 音楽主事/ 大学福祉学科講師
3	10/19 (木)	塩屋 優子 氏 ウエスレアン・ホーリネス教団戸 畑高峰教会牧師/女学院理事・ 評議員/中学校・高等学校聖書 科非常勤講師	「涙と共に種を蒔く人」 詩編126編 1～6節	神崎 明坤 大学宗教主事補/ 観光文化学科長	爲頼 康子 中学校・高等学校 教諭
4	12/7 (木)	塚本 吉興 氏 日本キリスト教団福岡中部 教会主任牧師/付属養巴幼 稚園園長	「主の言葉に聞くクリスマス」 ルカによる福音書 1章39～45節	藤田 稔子 短期大学部宗教主 事補/短期大学部保 育科准教授	佐野 智江 中学校・高等学校 教諭
5	2024 年 2/15 (木)	永町 友恵 氏 日本バプテスト連盟若松バ プテスト教会牧師/ 西南女学院大学キリスト教 学非常勤講師	「西南女学院を二度助けた 吉田敬太郎先生」 ローマの信徒への手紙 12章19～21節	東 彩子 キリスト教センター長 /大学・短期大学部 宗教主事	文屋 典子 大学福祉学科講師

● 墓前祈禱会

学院の礎を積み上げて来られた先達者を偲び、祈りをささげるため、5月19日(金)7時30分より教職員で集い実施した。塩屋優子氏(ウエスレアンホーリネス教団戸畑高峰教会牧師/西南女学院理事・評議員/西南女学院中学校・高等学校聖書科非常勤講師)により「要石(かなめいし)イエス・キリスト」と題してペトロの手紙一2章6～7節からご奨励いただいた。

●北陵教職員の朝の礼拝

密集せず、感染防止対策を講じた上で、月・水・金に実施した。

●教職員祈祷会

中学校・高等学校では月1回実施し、本部・大学・短期大学部では、毎月初日、朝の礼拝時に「月初め祈祷会」として実施した。

2. チャペルアワー、礼拝

キリスト教教育において核となる礼拝である。園児・生徒・学生たちが神様から多くの恵みをいただき、感謝と祈りをささげる時となった。詳細は後述の各校実績をもって報告とする。

3. 諸教会他、地域との協力関係

今年度は、コロナによる規制が緩和され、従来通り中高・大学・短期大学部での「教会訪問」を実施した。「教会案内」は、中高生には冊子を配布、大学・短大生にはユニバーサル・パスポートにてPDFを配信した。教会との関係性については、キリスト教センター長と中・高校長の連名による挨拶文書の発送に始まり、教会からの各種希望に応じ適宜対応する形でコミュニケーションを図った。また、年末年始の挨拶を含むクリスマスカードの発送も行なった。クリスマス募金については、例年どおり各校ごとに募金の呼びかけを行い、その全額を主にキリスト教関係の施設等団体へと献げることができた。

4. 教職員の主体的な活動

●中学校・高等学校では、定例として、月の第一火曜日朝に「月初め祈祷会」がもたれた。また、入職3年目までの職員有志を対象に、村瀬泉校長主催による「キリスト教教育オリエンテーション」が月に一度、放課後、継続して開かれた。

●同窓生主体として開始された「西南女学院100周年有志祈祷会」を引き継ぎ、「西南女学院祈祷会」として有志により中学校・高等学校会議室において5月18日(木)、6月22日(木)、9月21日(木)、11月9日(木)、1月18日(木)の5回。また、北陵においては聖書学課後にカフェスタイルとして4月20日(木)、7月20日(木)、10月19日(木)、12月7日(木)、2月15日(木)の5回を実施した。尚、このカフェに関して茶菓の奉仕をしてくださった塩屋優子氏、山崎工氏、徳重まや氏には、とりわけ感謝したい。

5. キリスト教センター主催の活動

●教職員等聖書講座「聖書と黙想のとき」

おもに教職員(同窓生含む)を対象として、6月26日(月)、7月21日(金)、10月25日(水)11月20日(月)、1月22日(月)の5回開催した。講師に楊周漢氏(折尾愛真短期大学宗教主任)をお招きして、聖書の言葉を傾聴して黙想する「メディテーション」をレクチャーしていただき、心を静めて聖書の言葉を深く味わう体験を深めることができた。

●イングリッシュバイブルスタディ

日本バプテスト宣教師の方々、また時には若いミSSIONナリーの方々が定期的にいらしていただき、短い時間ながらも学内談話室にて学生たちと交流をもってくださいました。フランクなスタイルで神の愛を語られる宣教師との心のふれあいにより、多くの学生たちが豊かなものを得る時となった。今年度は6月14日(水)、6月15日(木)、11月15日(水)、12月13日(水)、いずれも昼休みを中心とした集いやすい時間帯で実施できた。

●KGK キリスト者学生会の集い

キリスト者の学生が中心となり、自主的に聖書を学び深めあう集いである。今年度は、1月16日(火)の1回のみであったが、今後もサポートしていきたい。

●キリスト教センターだよりの発行

今年度も3号(120 春号、121 夏号、122 号冬号)を発行し、学院内における学生・生徒・園児・教職員それぞれの視点で諸活動を通して得られた恵みを綴っていただいた。また、全部とまではいかないが、近隣教会の方々にも生徒・学生への招きを寄稿していただき、地域とのよき関係が徐々に広げられている。

6. その他

●日本バプテスト宣教師団クラスターミーティング(全国総会・修養会)への部分参加

8月7日(月)～8月13日(日)の開催期間うち、8月11日(金)と8月12日(日)に東彩子キリスト教センター長が参加し、宣教師団との関係性をより深めるときとなった。

◎大学・短期大学部

1.チャペルアワー

【短期大学部】(水曜日10:50~11:50)
1,2年合同でマロリーホールにて実施。

【大 学】(木曜日10:50~11:50)
看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科の各1年生、助産別科の学生がマロリーホールにて実施。2、3、4年生は任意での参加とした。

2.春季ミッションデー

＜ミッションデー第1週＞ 短期大学部:5月10日(水)、大学:5月11日(木)
奨励：熊田凡子先生(関東学院大学 教育学部 こども発達学科准教授)
主題：「キリスト教学校における教師のまなざし」 マタイによる福音書19章14節

＜ミッションデー第2週＞ 短期大学部:5月17日(水)、大学:5月18日(木)
奨励：横田法路先生〔日本イエス・キリスト教団 福岡教会(油山シャローム教会)主管牧師]
主題：「しあわせな人生の土台」～人の目から神のまなざしへ～ イザヤ書43章1~4節

3.秋季ミッションデー

＜ミッションデー第1週＞ 短期大学部:11月8日(水)、大学:11月9日(木)
奨励：菊池るみ子先生(ハンドベルソロイスト/大井バプテスト教会教会員)
主題：「神様はあなたのそばに・・・」 イザヤ書46章3~4節

＜ミッションデー第2週＞ 短期大学部:11月15日(水)、大学:11月16日(木)
奨励：齋藤篤先生(日本基督教団仙台宮城野教会牧師/カルト問題連絡会世話人)
主題：「私は知らなかった」 創世記28章10~22節、コリントの信徒への手紙一 15章58節

4.クリスマス礼拝

日時:2022年12月21日(木)13:00~15:00
場所:北九州ソレイユホール
テーマ:『インマヌエル、神は我々と共におられる』
内容:学生による平和のスピーチ、音楽で綴る生誕物語、聖歌隊、ハンドベル演奏等による賛美
奨励:ラス・ボグ先生(学院宗教主任補佐/日本バプテスト宣教団宣教師)
「インマヌエルと呼ばれた救い主」マタイによる福音書1章18~25節

5.送別礼拝

【短期大学部】1月17日(水)
【大学】1月18日(木)
両日とも奨励：戸田由美先生(大学短期大学部学部長/短期大学部保育科教授/シオン山幼稚園園長)

6.ハンドベルクワイヤー

顧問:金谷めぐみ氏、指導:山路麻佳氏、部員:6名(大学3年生3名、1年生3名)
新型コロナウイルス警戒時期においては、部員も皆無に近い状態であったが、新しい部員も与えられ、徐々に活動を再開することができた。ミッションデー、チャペルアワー、クリスマス礼拝での演奏を行うことができた。尚、2023年12月23日(土)には、シャボン玉石けん株式会社様のクリスマス会に招かれ、会場のホテルクラウンパレス小倉にて演奏を行わせていただくことができた。

7.講義

以下のように実施した。
・短期大学部：「キリスト教学Ⅰ」、「キリスト教学Ⅱ」、「キリスト教保育」
・大 学：「キリスト教学(旧約聖書)」、「キリスト教学(新約聖書)」、「キリスト教と西南女学院のあゆみ」、「キリスト教と文化」、「キリスト教と現代」、「キリスト教と生命倫理」

◎中学校・高等学校

- 1.礼拝** ・全体礼拝 木曜日 8:55～9:40 ロウ記念講堂にて実施
・クラス礼拝 月・火・水・土曜日 8:40～8:50(各教室)
※土曜日のみ 1年 学年礼拝 8:35～8:50(教室)
2～6年 クラス礼拝 8:40～8:50(各教室)
・放送礼拝 金曜日 8:35～8:50(各教室)

2.ミッションマンス ロウ記念講堂にて全体礼拝

- 第1回 6月8日(木) 原田昌樹先生(北九州希望の光キリスト教会牧師)
主題:「手のひらにあなたを刻んだ」 イザヤ書49章16節 新生讃美歌431番
第2回 6月15日(木) 斎藤信一郎先生(日本バプテスト連盟北九州キリスト教会牧師)
主題:「復活の証明」 使徒言行録2章21～24節、36～41節 新生讃美歌265番
第3回 6月22日(木) 今村まさる先生(日本バプテスト連盟早良教会協力牧師/元シオン山教会牧師夫人)
主題:「神の目にあなたは高価で尊い」 イザヤ書43章4～5節 新生讃美歌552番

3.ミッションウイーク ロウ記念講堂にて全体礼拝 田口昭典先生(日本バプテスト連盟福岡バタニヤ村教会牧師)

- 総主題「愛を身に着けて生きる」
10月11日(水)『信仰』って当たり前のこと!」マルコによる福音書9章21～24節
10月12日(木)『愛』がなければ・・・」イザヤ書43章1～7節
10月13日(金)『希望』はどこから?」ローマの信徒への手紙15章13節

4.クリスマス礼拝 ロウ記念講堂

日時: 2023年12月14日(木) 11:00～12:20

<第1部>

講師:園山繁樹先生(KBS発達教育支援研究所代表/筑波大学名誉教授/元西南女学院大学教授)
主題:「あなたとわたしのクリスマス」 コリントの信徒への手紙二 1章1～6節

<第2部>

音楽部とOGによる合唱 13:30～14:30
指揮:完戸真人先生(元中・高教諭) 曲名:宗教曲とミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より

5.卒業礼拝 2月26日(月)ロウ記念講堂にて

奨励:佐藤清一先生(日本バプテスト荏田キリスト教会牧師/中・高聖書科非常勤講師)
主題:「勇気を出しなさい」 ヨハネによる福音書16章33節 新生讃美歌548番(力強き主よ導きたまえ)

6.授業 聖書科授業によって、生徒がキリスト教の知識を学び、正しい聖書解釈ができるようにしている。

◎幼稚園

礼拝等キリスト教行事

- 5/23(火) ファミリー礼拝(もりグループ)
5/24(水) ファミリー礼拝(うみグループ)
5/25(木) ファミリー礼拝(そらグループ)
6/ 9(金) 花の日礼拝
6/21(水) ファミリー礼拝(ひよこグループ)
9/15(金) 敬老礼拝
11/8(水) 収穫感謝礼拝
12/5(火) 子どもクリスマス礼拝
12/8(金) クリスマス礼拝 10:00～ 日本バプテストシオン山教会にて
奨励: 本山大輔先生(日本バプテスト連盟豊前キリスト教会牧師)
聖書: ヨハネによる福音書 3章16節
参加: 年長児・年中児とその保護者
12/19(火) クリスマス祝会

5. 学生・生徒・園児

(1) 志願者数

2023(令和5)年5月1日現在

学 校 名		入学定員	入学志願者数		実入学者数		
			推薦	一般	推薦	一般	
大 学	保健 福祉 学部	看護学科	90	81 (2)	180 (3)	68 (2)	25 (1)
		福祉学科	80	49 (2)	110 (1)	49 (2)	25 (0)
		栄養学科	100	35 (0)	76 (0)	34 (0)	12 (0)
		計	270	165 (4)	366 (4)	151 (4)	62 (1)
	人 文学 部	英語学科	60	8 (0)	52 (1)	8 (0)	19 (0)
		観光文化学科	60	23 (1)	42 (0)	23 (1)	9 (0)
		計	120	31 (1)	94 (1)	31 (1)	28 (0)
	助産別科		16	37	52	8	8
	小計		406	233 (5)	512 (5)	190 (5)	98 (1)
	累計		406	745 (10)		288 (6)	
短 期 大 学 部	保育科	100	20 (0)	29 (1)	20 (0)	11 (1)	
	累計	100	49 (1)		31 (1)		
高 等 学 校	一般中学より	80	10	58	10	11	
	西南女学院中学より	80	35		35		
	計	160	103		56		
中学校		80	92		36		
幼稚園		満3歳児 15 3歳児 25 4歳児 10 5歳児 若干	満3歳児 14 3歳児 10 4歳児 2 5歳児 1	満3歳児 14 3歳児 10 4歳児 2 5歳児 1			

【注】 ()内は西南女学院高校からの志願者数・入学者数を内数で示す。

大学推薦選抜には、総合型選抜の志願者数・入学者数を含む。

大学一般選抜には、社会人選抜、大学入学共通テスト利用選抜及び外国人留学生選抜の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部推薦選抜には、総合型選抜の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部一般選抜には、特待生選抜、社会人選抜、大学入学共通テスト利用選抜の志願者数・入学者数を含む。

幼稚園満3歳児は5月2日以降に入園予定の14名を含む。

(2) 在籍者数

学 校・学科等		新 入 生 (2023年度)	総 数	
			2023. 5. 1 現在	2024. 3. 31 現在
大 学	看 護 学 科	93	382 (4)	375 (7)
	福 祉 学 科	74	304 (1)	302 (2)
	栄 養 学 科	46	209 (1)	204 (2)
	英 語 学 科	27	135 (0)	135 (2)
	観 光 文 化 学 科	32	178 (1)	175 (1)
	助 産 別 科	16	16	16 (1)
	計	288	1, 224 (7)	1, 207 (15)
大 学 短 期 部	保 育 科	31	81	81
	計	31	81	81
中・高 4 5 6 年		56	180 (1)	170
中・高 1 2 3 年		36	98	93
幼 稚 園		20	83	94
合 計		431	1, 666 (8)	1, 645 (15)

(注) 休学者は在籍数の隣に()を付して内数で示す。

(3) 卒業生数

2024(令和6)年5月1日現在

2023年度卒業生		人 員	累 計	旧制女学校卒業生		累 計
学 校 名				専 門 学 校 累 計 (203)	英 語 科	
幼 稚 園		22	3, 829	女 学 校		2, 147
中 学 校		32	12, 490	専 門 学 校 累 計 (203)	英 語 科	87
高 等 学 校		66	14, 458		生 活 科	116
大 学 短 期 大 学 部	(英 語 科)	-	9, 460			
	生 活 創 造 学 科	-	10, 509			
	保 育 科	48	8, 532			
	(食 物 栄 養 科)	-	4, 032			
	計	48	32, 533			
大 学	看 護 学 科	102	2, 435			
	福 祉 学 科	71	3, 041			
	栄 養 学 科	67	1, 730			
	英 語 学 科	48	679			
	観 光 文 化 学 科	72	982			
	人 文 学 科	-	388			
	助 産 別 科	15	261			
計	375	9, 516				
合 計		543	72, 826	合 計		2, 350
総 数 (卒業生総数)			75, 176			

(注) 中学校卒業生32名の中、内部高校進学者数27名

6. 教職員組織

(1) 教職員数

2023(令和5)年5月1日現在

< 職員 >

本 部

院長・事務局長・課長・室長			書記	書記補	教育支援職員	計
院長	田中綜二	1				1
学院宗教主任	田中綜二	※				—
事務局長	五十嵐勝	1				1
総務課長	姫野隆行	1	3			4
人事給与課長	姫野隆行	※	1	1		2
経理課長	中島 徹	※				—
施設課長	中村洋介	※				—
経営企画課長	鮫島浩昭	1	1			2
広報課長	北山博英	1	1			2
刊外教外室長	山本淳之	1			1	2
小 計	6		6	1	1	14

【注】※印は学内兼務者を示す。

< 教員 >

大 学

学 長 浅野嘉延		宗教主事 東 彩子									
学長・副学長・学部長・学科長		学長	副学長 学部長	教授	准 教授	講師	助教	助手	計	教育 支援 職員	計
学 長	教授 浅野嘉延	1							1		1
副 学 長	教授 伊藤直子		1						1		1
保健 福祉 学部	学 部 長	教授 伊藤直子	※						—		—
	看護学科	教授 大嶋満須美		9	2	8	4	9	32	1	33
	福祉学科	教授 稲木光晴		7	3	8	1	1	20		20
	栄養学科	教授 坂田郁子		9	4	4		4	21	1	22
人文学部	学 部 長	教授 八尋春海	1						1		
	英語学科	教授 マルコム・ロス・スリンソン		5	1	2			8	1	16
	観光文化学科	教授 神崎明坤		3	3				6		
助産別科	教授 杉浦絹子			1		2	2	1	6		6
小 計		1	2	34	13	24	7	15	96	3	99

大学短期大学部

学 長 浅 野 嘉 延		宗教主事 東 彩 子									
学長・副学長・学部長・学科長		学長	副学長 学部長	教授	准 教授	講師	助教	助手	計	教育 支援 職員	計
学 長	大 学 教 授 浅野嘉延	※							—		—
副 学 長	大 学 教 授 伊藤直子		※						—		—
学 部 長	教 授 戸田由美		1						1		1
保 育 科	教 授 末寄雅美			4	5	2			1 1	2	1 3
小 計		—	1	4	5	2			1 2	2	1 4

【注】※印は学内兼務者を示す。

中学校・高等学校、幼稚園

校 長・園 長		教 頭	宗教 部長	校長 園長	副校長 副園長	教諭	常勤 講師	実習 助手	計
中学校・高等学校 校 長 村瀬 泉 副校長 松下範枝	高 校	松下範枝		1	1	2 3	4	1	3 0
	中 学	井上雄二							
大学短期大学部附属 シオン山幼稚園 園長(大学短期大学部教授) 戸田由美		—	—	※	—	9	—	—	9

【注】※印は学内兼務者を示す。

教 員 合 計

大 学	大学 短期大学部	高校・中学	幼稚園	計
9 6	1 2	3 0	9	1 4 7

< 職 員 >
大 学

部局等		部長・館長	課 長・室 長		書 記 司 書	書記補 司書補	再雇用	専門職員	計
入試部	入試課	教授 ※ 今村浩司	築別昇一郎	※	3 (3)				3 (3)
教務部	教務課	教授 ※ 太田かおり	隅田直孝	1 (1)	5 (5)				6 (6)
学生部	学生課	教授 ※ 高崎智子	藤川信幸	1 (1)	2 (2)				6 (6)
	就職課		坂田美登里	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
事務部	庶務課	小川 尚 ※	小川 尚	1 (1)	2 (2)				1 2 (12)
	会計課		中島 徹	1 (1)	4 (4)				
	施設課		中村洋介	※	2 (2)				
	情報システム 管理課		隅田直孝	※	1 (1)	1 (1)			
図書館	図書課	教授 ※ 岡田和敏	垂水典子	1 (1)	2 (2)				3 (3)
	学生総合 支援室		教授 笹月桃子	※				1 (1)	1 (1)
小 計		—	6 (6)		2 2 (22)	2 (2)		1 (1)	3 1 (31)

【注】 ()内は本部又は大学短期大学部兼務者を示す。 ※印は学内兼務者を示す。

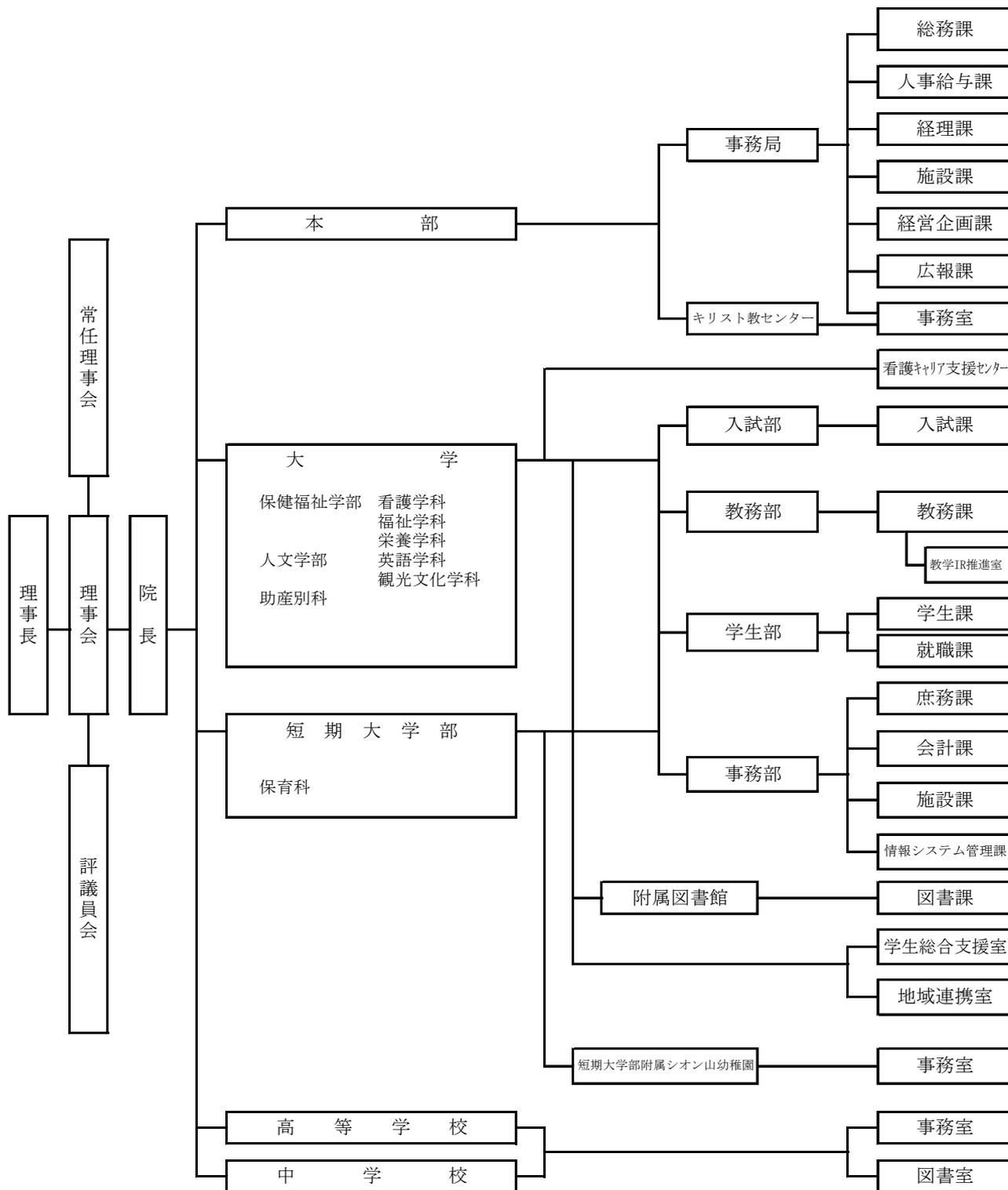
大学短期大学部

部局等		部長・館長	課 長・室 長		書 記 司 書	書記補 司書補	再雇用	専門職員	計
入試部	入試課	大学教授 ※ 今村浩司	築別昇一郎	1 (1)					1 (1)
教務部	教務課	大学教授 ※ 太田かおり	隅田直孝	※					—
学生部	学生課	大学教授 ※ 高崎智子	藤川信幸	※	1 (1)				2 (2)
	就職課		坂田美登里	※	1 (1)				
事務部	庶務課	小川 尚 ※	小川 尚	※					1 (1)
	会計課		中島 徹	※					
	施設課		中村洋介	1 (1)					
	情報システム 管理課		隅田直孝	※					
図書館	図書課	大学教授 ※ 岡田和敏	垂水典子	※					—
	学生総合 支援室		大学教授 笹月桃子	※				1 (1)	1 (1)
小 計		—	2 (2)		2 (2)			1 (1)	5 (5)

【注】 ()内は本部又は大学兼務者を示す。 ※印は学内兼務者を示す。

(2) 組織図

2023(令和5)年5月1日現在



7. 役員

【定数】理事16名 監事2名

2023(令和5)年5月1日 現在

理事／監事	氏 名	常勤・非常勤の別	任 期
理事長	向 雅 彦	常勤	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	田 中 綜 二	常勤 院長 学院宗教主任(兼)	2020. 4. 1～2024. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31
理事	浅 野 嘉 延	常勤 大学長・ 大学短期大学部学長(兼)	2021. 4. 1～2025. 3. 31
理事	村 瀬 泉	常勤 中学校・高等学校校長	2023. 4. 1～2024. 3. 31
理事	五十嵐 勝	常勤 事務局長	2017. 4. 1～
理事	伊 藤 直 子	常勤 大学保健福祉学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
理事	八 尋 春 海	常勤 大学人文学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
理事	戸 田 由 美	常勤 大学短期大学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
理事	塩 屋 優 子	非常勤 教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	舛 本 敬 子	非常勤 同窓会会長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	山 崎 工	非常勤 前同窓会会長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	植 田 浩 司	非常勤 元大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	渡 邊 仁	非常勤 元短期大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	藤 本 新 二	非常勤 社会福祉法人理事長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
監事	大 熊 強	非常勤 保護司	2023. 4. 1～2026. 3. 31
監事	伊 東 幸 雄	非常勤 元事務部長	2023. 4. 1～2026. 3. 31

※役員の数と実数の差は兼務により理事定数を減じる規定による。(寄附行為第7条第2項)

◎ 役員賠償責任保険

保険種類：役員賠償責任保険（東京海上日動火災保険株式会社）

契約者：日本私立大学協会（団体）

被保険者：理事・監事、評議員、執行役員、退任役員及び法人

保険期間：2023年4月1日～2024年4月1日

総支払限度額：3億円

8. 評議員

【定数】36名

2023(令和5)年5月1日 現在

氏 名	現職等	任 期
向 雅 彦	理事長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
田 中 綜 二	院長 学院宗教主任(兼)	2020. 4. 1～2024. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31
浅 野 嘉 延	大学長・ 大学短期大学部学長(兼)	2021. 4. 1～2025. 3. 31
村 瀬 泉	中学校・高等学校校長	2023. 4. 1～2024. 3. 31
五十嵐 勝	事務局長	2017. 4. 1～
伊 藤 直 子	大学保健福祉学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
八 尋 春 海	大学人文学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
戸 田 由 美	大学短期大学部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31
植 田 浩 司	元大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
渡 邊 仁	元短期大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
藤 本 新 二	社会福祉法人理事長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
今 村 浩 司	大学・短大入試部長(兼)	2023. 4. 1～2026. 3. 31
太 田 かおり	大学・短大教務部長(兼)	2023. 4. 1～2026. 3. 31
松 下 範 枝	高等学校教頭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
井 上 雄 二	中学校教頭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
目 野 郁 子	大学看護学科教授	2023. 4. 1～2026. 3. 31
稲 木 光 晴	大学福祉学科教授	2023. 4. 1～2026. 3. 31
末 寄 雅 美	短期大学部保育科教授	2023. 4. 1～2026. 3. 31
廣 川 智 美	幼稚園教諭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
佐 野 智 江	中学校・高等学校教諭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
内 田 絵理香	中学校・高等学校教諭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
中 島 徹	本部経理課長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
築 別 昇一郎	大学・短大入試課長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
塩 屋 優 子	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
舩 本 敬 子	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
山 崎 工	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
嶋 田 涼 美	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
荒 瀬 謙 二	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
久多良木 和夫	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
佐 藤 清 一	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
中 村 和 光	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
原 田 義 也	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31

※評議員の定数と実数の差は兼務により評議員定数を減じる規定による。(寄附行為第25条第3項)

9. 理事会議案及び決議

2023(令和5)年4月～2024(令和6)年3月

第1回 2023(令和5)年4月1日(土)

- | | | |
|----------------------------------|---|---|
| ・ 寄附行為第6条第2項の規定による理事長の互選について | 承 | 認 |
| ・ 寄附行為第15条の規定による理事長職務の代理者の指名について | 承 | 認 |
| ・ 寄附行為第6条第4項第2号の規定による常任理事の任命について | 承 | 認 |
| ・ 理事の担当役割、競業及び利益相反について | 承 | 認 |

第2回 2023(令和5)年5月24日(水)

- | | | |
|--|---|---|
| ・ 2022(令和4)年度事業報告及び決算等について | | |
| (1) 事業報告 | 承 | 認 |
| (2) 決算報告 | 承 | 認 |
| (3) 監事監査報告 | | |
| ・ 人事について | 承 | 認 |
| ・ 2024年度大学・大学短期大学部学納金について | 承 | 認 |
| ・ 西南女学院大学学則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・ 西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について | 承 | 認 |
| (1) 西南女学院大学短期大学部学則(第8章第32条別表第二)改正(案)について | | |
| (2) 西南女学院大学短期大学部学則(第1章第3条)改正(案)について | | |

第3回 2023(令和5)年9月15日(金)

- | | | |
|-------------------------------------|---|---|
| ・ 任期満了に伴うシオン山幼稚園の園長候補者について | 承 | 認 |
| ・ 人事について | 承 | 認 |
| ・ 2023(令和5)年度補正予算(案)について | 承 | 認 |
| ・ 2024(令和6)年度予算基本方針(案)について | 承 | 認 |
| ・ 特定公益増進法人の証明申請について | 承 | 認 |
| ・ 学校法人に対する寄付の税額控除に係る証明申請について | 承 | 認 |
| ・ 大学9号館の取り壊しについて | 承 | 認 |
| ・ 西南女学院大学・大学短期大学部ガバナンス・コードの適合状況について | 承 | 認 |

第4回 2023(令和5)年11月24日(金)

- | | | |
|--------------------------------|---|---|
| ・ 人事について | 承 | 認 |
| ・ 学校法人西南女学院公益通報に関する規程改正(案)について | 承 | 認 |
| ・ 西南女学院大学学則改正(案)について | 承 | 認 |

- ・ 寄附行為の変更について（その1） 承 認
- ・ 西南女学院将来計画について 承 認

第5回 2023(令和5)年12月13日(水)

- ・ 人事について 承 認
- ・ 西南女学院将来計画について 承 認
- ・ 任期満了に伴う次期院長候補者について 承 認

第6回 2024(令和6)年1月17日(水)

- ・ 人事について 承 認
- ・ 西南女学院将来計画について 承 認
- ・ 短期大学部保育科の募集停止等について 承 認
- ・ 2024(令和6)年中学校・高等学校校納金(案)について 承 認
- ・ 中学校・高等学校副校長候補者推薦について 承 認

第7回 2024(令和6)年3月21日(木)

- ・ 2024(令和6)年度事業計画及び当初予算(案)について 承 認
- ・ 人事について 承 認
- ・ 短期大学部保育科の募集停止について 承 認
- ・ 学校法人西南女学院寄附行為変更(案②)について 承 認
- ・ 学校法人西南女学院寄附行為施行細則改正(案)について 承 認
- ・ 寄附行為第6条第4項に規定する協議会の運営に関する規程(制定案)について 承 認
- ・ 学校法人西南女学院理事会業務及び理事会業務委任規則改正(案)について 承 認
- ・ 学校法人西南女学院役員報酬等の基準に関する内規改正(案)について 承 認
- ・ 西南女学院非常勤講師就業規則(案)について 承 認
- ・ 任期満了に伴う次期学院宗教主任補佐候補者について 承 認
- ・ 2024年度役員賠償責任保険への継続加入について 承 認
- ・ 2024(令和6)年度園納金(案)について 承 認
- ・ 西南女学院将来計画について 承 認
- ・ 西南女学院大学名誉教授の称号の授与について 承 認

第二部

事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要

○ 事業について

本年度は、教育・研究環境の整備に係る重点項目について新規事業計画にかかる事業の計画を立てて予算の編成を行い、2023年度第2回評議員会及び第3回理事会において承認を受けて実施し、概ね計画どおりに完了しております。主な事業は次のとおりです。

〔法人本部〕

- ・創立100周年記念募金募集要項制作・発送
- ・中学校・高等学校電話システム更新工事

〔大学・大学短期大学部〕

- ・1号館GHP空調機更新工事 ・6号館・図書館空調システム更新工事及び設計
- ・中庭テーブルセット（6セット）設置 ・高圧引込電柱更新工事 ・6号館冷却塔修繕工事
- ・機関別認証評価受審 ・バス停シティスケープへの広告掲載
- ・公式ウェブサイトのリニューアル
- ・GAKUEN/UNIVERSAL PASSPORTのシステムグレードアップ及び年間保守
- ・日本学生支援機構奨学金業務委託 ・全学対象海外研修引率旅費
- ・実験用顕微鏡8台購入

〔中学・高校〕

- ・ガス空調更新工事 ・無線環境ネットワーク整備工事

〔幼稚園〕

- ・遊具設置工事 ・給食業務委託 ・労務業務委託

◇ 学校法人西南女学院中期計画に基づく事業計画の推進

本年度は、中期計画に基づく新規事業を実施しました。引き続き2022年度～2026年度の中期計画の5年間で集中的に取り組むべき目標を“Mission「要」”とし、3つのMissionを中心に取り組んでいます。Mission1では教育の質保証において学修成果を意識した教育の改善・向上を図ること及び教育環境の整備を実施し、老朽化した施設については、財源確保に努めながら計画的に整備しています。Mission2では、経営基盤の安定のため、ガバナンス強化及び財政の健全化に向け取り組んでいます。ガバナンスの強化については、大学において「ガバナンス・コード」を定め、毎年公表・検証を行っています。財政の健全化については、学校法人の永続性に鑑みた収入と支出に努めていますが、中期計画の数値目標は達成できず見直すことになりました。今後も引き続き収入に見合った支出の管理を行うと同時に収入の安定・増加に資するため、学生・生徒・園児の募集活動を強化します。Mission3では、地域社会との共生のため、「地域総キャンパス」を掲げ、地域社会と連携した教育改革を進めています。

◇ 施設等の状況

主な施設設備の状況は次のとおりです。

種別	所在地	土地面積	建物面積
北陵校地	北九州市小倉北区井堀	55,216㎡	39,947㎡
	北九州市小倉北区下津	3,514㎡	4,362㎡
南陵校地	北九州市小倉北区上津	32,979㎡	13,967㎡
	北九州市小倉北区都	1,106㎡	—
河内校地	北九州市八幡東区河内	24,902㎡	1,544㎡
	計	117,717㎡	59,821㎡

○ 決算について（千円以下四捨五入の関係で合計など数値が計算上一致しない場合があります。）

本法人の会計年度は、寄附行為第39条に規定されており、2023年度決算における会計期間は、2023年4月1日から2024年3月31日までの1年間としています。また、当決算は、2022年9月の予算基本方針承認、2023年3月の当初予算承認、2023年9月の補正予算承認を経て執行されてまいりました結果を私立学校法及び学校法人会計基準に則り、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表により表しています。

(1) 資金収支計算書

この計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に相当するもので、①毎会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにすること及び②当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的とし、本法人の財政規模や資金の源泉、使途を表すものです。

当年度は、前年度繰越支払資金4億1,802万円に当年度資金収入37億9,754万円を加えた42億1,556万円が収入合計（財政規模）となりました。この収入合計から当年度資金支出39億2,381万円を差し引いた翌年度繰越支払資金は、2億9,174万円（期首比1億2,628万円減少）となりました。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、企業会計における損益計算書に相当し、収支の均衡が取れているかを判断するとともに、純資産の増減を表す計算書です。学校法人は、営利を目的とはしませんが、永続的な運営を求められており、そのためには事業活動収支の均衡の確保も必要な条件となります。「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」という三区分別経理が導入され、合わせて当年度の収支差額を表示した後に基本金組入額を差し引くことになっています。

教育活動収支は、学校の教育・研究活動に関する収支で、教育活動外収支は、学校の教育活動を側面から支える財務活動及び収益事業活動に関する収支です。この教育活動収支と教育活動外収支は共に経常的な収支ですので、両者を合計したものを「経常収支差額」として表示し、経常的な事業活動が安定的であるかを判断する指標になります。加えてこの計算書には、退職給与引当金繰入額や減価償却額などの非資金も計上されます。特別収支は、学校法人にとって当該会計年度に臨時に発生した事業活動収支であり、収入では資産の売却益があったときの資産売却差額や施設設備に関する寄付金、補助金、現物寄付等が、支出では資産の売却損があったときの資産処分差額や災害損失等が計上され、その差異は「特別収支差額」として表示されます。

当年度の経常収支差額（教育活動収支及び教育活動外収支）は、4億1,292万円の支出超過。これに特別収支差額の64万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、4億1,229万円の支出超過となりました。これから基本金組入額 1億9,942万円を差し引いた当年度収支差額は、6億1,171万円の支出超過となり、前年度繰越収支差額△14億2,981万円と基本金取崩額76万円を加え、翌年度繰越収支差額は、20億4,076万円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

資金収支計算書や事業活動収支計算書が一会計年度の収支状況を表しているのに対して、貸借対照表は、一会計年度末における学校法人の財政状態（財産の状態）を表示する計算書です。「資産の部」、「負債の部」、「純資産の部」で構成されており、純資産の部は、基本金及び繰越収支差額からなり、保有する資産の調達源泉（自己資金か他人資金か）が明示されています。

・資産の部

「固定資産」は、98億2,308万円（土地、建物、構築物などの有形固定資産53億1,201万円、用途が特定されている預金や有価証券等の特定資産44億7,585万円及びその他の固定資産3,522万円）、「流動資産」は、現金預金2億9,174万円に未収入金、貯蔵品、前払金などを加え4億4,954万円。以上、資産の部合計（総資産）は、102億7,262万円となりました。

・負債の部

退職給与引当金などの「固定負債」8億8,627万円及び未払金や前受金などの「流動負債」3億9,508万円の合計による総負債は、前年度末に比べ981万円増加し、12億8,135万円となりました。

・純資産の部

純資産（自己資金）は、「基本金」合計110億3,203万円と「繰越収支差額」△20億4,076万円の合計で89億9,127万円となりました。

・貸借対照表前年比

総資産は4億248万円減少、総負債は981万円増加しました。純資産（自己資金）は、前年度末94億356万円、当年度末89億9,127万円で4億1,229万円減少しました。なお、当年度末の純資産構成比率は、87.5%（前年度88.1%）です。

※2023年度の本学院の当年度の経営状況を表す事業活動収支差額比率は法人全体で△16.4%（前年度末16.9%）となり、前年度と同様大きく悪化した状況は変わらず、収支状況及び資産の減少とともに厳しい状況が続いています。まずは収入の増加に努め、併せて経費の削減と予算の選択を適切に行い、早急に財政の改善に努める必要があります。

2. 財務の概要（2023年度予算の主な執行状況）

当期の予算の執行状況について、その概況を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ①当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度における支払資金(現金預金)の収入及び支出のてん末を明らかにする。

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

【科目の説明です。】

(収入の部)		(単位:千円)		
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等からの授業料や入学金などです。科目等履修料、聴講料も含まれます。	1,709,579	1,718,858	△ 9,279	入学者数の減少は大学の財政に大きく影響を当てています。
国や地方公共団体からの助成金です。	27,250	22,736	4,514	
翌年度に入学予定の学生生徒等からの授業料や入学金などです。	31,923	40,188	△ 8,265	
長期、短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額などです。	471,425	521,344	△ 49,919	補助金収入には、2020年度から開始された高等教育の修学支援による授業料等減免費交付金と幼児教育無償化における施設型給付費(幼稚園)が含まれています。
収入として計上したが未収入となっているものや前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。	0	0	0	
	22,188	24,036	△ 1,848	
	18,923	19,623	△ 700	
	148,937	166,803	△ 17,866	
	0	0	0	
	403,205	278,973	124,232	学生数の減少により前受金収入が減少。収入の部の合計にも大きく関わっています。
	1,192,480	1,431,324	△ 238,844	
	△ 408,374	△ 426,351	17,977	
収入の部合計	3,617,536	3,797,536	△ 180,000	
	418,024	418,024		
収入の部合計	4,035,560	4,215,560	△ 180,000	
(支出の部)				
科目	予算	決算	差異	
土地、建物、構築物等を取得するための支出です。	2,044,640	2,031,097	13,543	教職員の人件費は減少していますが退職者の増加により退職金支出が増加しています。
教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。	669,415	597,510	71,905	
より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出です。	136,942	144,164	△ 7,222	100周年事業に係る印刷製本費支出、学生募集にかかる広告費支出が増加しました。
支出として計上したが未払いとなっているものや、前払金として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。	0	0	0	
	0	0	0	
	202,930	205,991	△ 3,061	
	94,966	86,062	8,904	
	53,741	63,800	△ 10,059	本年の事業である6号館・図書館空調システム更新工事(I期)、1号館GHP空調機更新工事、及び中高空調機更新工事等が主な支出となりました。
	772,364	900,881	△ 128,517	
	△ 92,529	△ 105,689	13,159	
支出の部合計	3,882,469	3,923,817	△ 41,348	
	153,091	291,742	△ 138,651	
支出の部合計	4,035,560	4,215,560	△ 180,000	
当年度資金収支差額	△ 264,933	△ 126,282	△ 138,651	

* 上記の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。なお、以下の表についても同様です。

学校会計について

学校法人は、教育研究活動を目的とし、その経費の多くは学生生徒等納付金、補助金、寄付金等により賄われているきわめて公共性の高い法人で、営利を目的とする企業とは異なります。

公共性が高い学校法人が教育研究活動を継続して行い永続的に存続していくためには、収支の均衡状況と財政状態を正しく捉え健全な経営を行わなければなりません。そのため学校法人会計は、文部科学省令により定められた「学校法人会計基準」に基づき経理処理が行われ、計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属する内訳表、明細表)を作成しなければなりません。

一方、企業会計では、損益計算書と貸借対照表そして上場企業においてはキャッシュフロー計算書が作成されます。企業会計では、収益と費用を正しく捉えて損益を計算し、併せて企業の財政状態(資産、負債及び資本)を知ることによって、より収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

(3) 事業活動収支

事業活動収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ① 当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び活動支出の内容を明らかにする。
- ② 当該会計年度の基本金組入後の均衡の状態を明らかにする。
- ・事業活動収入とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入として計算するものとする。
- ・事業活動支出とは、当該年度において消費する資産の取得価格及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算するものとする。

事業活動収支計算について、その主な内容をご報告します。

事業活動収支総括表

(単位:千円)

【科目の説明です。】

雑収入には私学退職金団体交付金収入が含まれます。

教職員に支払われる給与などです。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。教育研究経費の中には減価償却額が含まれます。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

学生生徒等納付金の納付困難、貸付金の回収不能に備え、見込額を引当金として準備します。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものであり純資産の増加を示します。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、基本金組入前当年度収支差額から差し引く金額です。

科目		予算	決算	増減	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,709,579	1,718,858	△ 9,279	
	手数料	27,250	22,736	4,514	
	寄付金	31,923	40,739	△ 8,816	
	経常費等補助金	471,425	519,558	△ 48,133	
	付随事業収入	22,188	24,036	△ 1,848	
	雑収入	148,937	166,803	△ 17,866	
	教育活動収入計	2,411,302	2,492,731	△ 81,429	
事業活動支出の部	人件費	2,107,367	2,006,254	101,113	
	教育研究経費	840,072	768,515	71,557	
	(うち、減価償却額)	(170,657)	(170,644)	(13)	
	管理経費	141,809	149,742	△ 7,933	
	(うち、減価償却額)	(4,867)	(4,867)	(0)	
	徴収不能額等	0	765	△ 765	
	教育活動支出計	3,089,248	2,925,276	163,972	
教育活動収支差額		△ 677,946	△ 432,546	△ 245,400	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	18,923	19,623	△ 700	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	18,923	19,623	△ 700	
	教育活動外支出の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額		18,923	19,623	△ 700	
経常収支差額		△ 659,023	△ 412,922	△ 246,101	
特別収入の部	資産売却差額	0	0	0	
	その他の特別収入	0	5,908	△ 5,908	
	特別収入計	0	5,908	△ 5,908	
	特別支出の部	資産処分差額	0	5,259	△ 5,259
		その他の特別支出	0	13	△ 13
		特別支出計	0	5,272	△ 5,272
特別収支差額		0	637	△ 637	
基本金組入前当年度収支差額		△ 659,023	△ 412,285	△ 246,738	
基本金組入額合計		△ 282,296	△ 199,423	△ 82,873	
当年度収支差額		△ 941,319	△ 611,708	△ 329,611	
前年度繰越収支差額		△ 1,429,809	△ 1,429,809	0	
基本金取崩額		0	756	△ 756	
翌年度繰越収支差額		△ 2,371,128	△ 2,040,761	△ 330,367	
(参考)					
事業活動収入計		2,430,225	2,518,263	△ 88,038	
事業活動支出計		3,089,248	2,930,548	158,700	

学生生徒等納付金は収入(経常収入)の68.4%となっていますが2020年度より施設型給付の幼稚園に移行したため、幼稚園の園納金は補助金に含まれます。

退職者の増加による私学退職金団体交付金の収入増加が主なものとなっています。

退職給与引当金繰入額7,647万円を含みます。

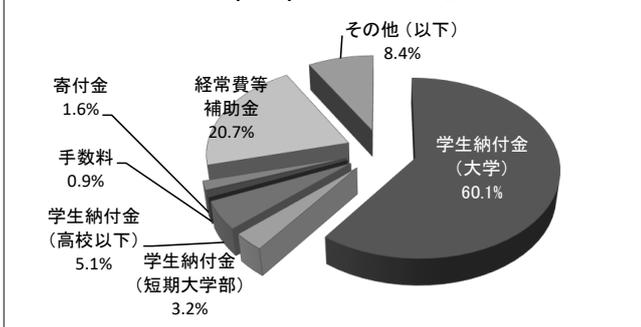
予算と比較すると経常収支差額は経常収入の増加と経常支出の減少に伴い2億4,610万円改善されたものの、厳しい状況となっています。

その他の特別収入には、高校の施設設備費補助金が含まれています。

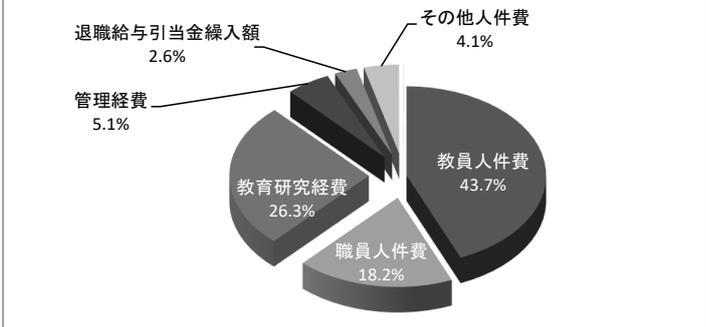
資産処分差額には、大学1号館GHP空調設備及び高校棟の空調設備の更新に伴う旧設備の不動産処分が含まれます。

基本金組入前当年度収支差額に基本金を組み入れた当年度収支差額は6億1,171万円の支出超過となりました。

経常収入(2,512,354千円)の構成比率



経常支出(2,925,276千円)の構成比率



(4) 貸借対照表

① 貸借対照表とは、年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書であり、資産・負債・純資産及び消費収支差額の項目があります。

- ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。・負債とは、将来返済しなければならない債務です。
- ・基本金及び繰越収支差額は、返済の必要のない学校法人の純資産です。

貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由を報告します。

【科目の説明です。】

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		本年度末	前年度末	増減
<p>校地、校舎、体育館などの建物及び建物付属設備(空調などの額)の額のことです。</p> <p>教育研究のために使用される機械設備などの額です。</p> <p>将来に備えて積み立てている資産のことです。</p> <p>学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。</p> <p>現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金の額のことです。</p> <p>決算日(3月31日)における退職資金交付額、補助金額等の未収額です。</p> <p>返済期限が1年以上の借入金の額のことです。</p> <p>2022年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。</p> <p>返済期限が1年以内の借入金です。</p> <p>翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などの額のことです。</p> <p>財産的な基盤を確保する額のことです。学校法人を安定的かつ永続的に経営していくために必要な額です。</p>	科目			
	固定資産	9,823,078	10,138,413	△ 315,335
	有形固定資産	5,312,010	5,196,604	115,406
	土地	708,623	708,623	0
	建物	2,951,143	3,034,528	△ 83,385
	構築物	158,960	158,125	835
	教育研究用機器備品	166,846	128,877	37,969
	管理用機器備品	6,694	2,757	3,936
	図書	1,171,815	1,163,694	8,121
	建設仮勘定	147,930	0	147,930
	特定資産	4,475,849	4,896,654	△ 420,805
	第2号基本金引当特定資産	80,398	70,398	10,000
	第3号基本金引当特定資産	90,042	87,957	2,085
	諸引当特定資産	4,305,409	4,738,299	△ 432,890
	その他の固定資産	35,218	45,155	△ 9,937
	電話加入権	4,450	4,450	0
	長期貸付金	4,094	10,724	△ 6,630
	出資金	20,174	20,174	0
	敷金・保証金	8	18	△ 10
	長期前払金	6,493	9,790	△ 3,297
流動資産	449,544	536,687	△ 87,144	
現金預金	291,742	418,024	△ 126,282	
未収入金	150,958	108,045	42,913	
貯蔵品	864	1,398	△ 534	
前払金	4,222	4,327	△ 105	
立替金	1,686	4,268	△ 2,582	
仮払金	72	625	△ 553	
合計	10,272,622	10,675,101	△ 402,479	
負債の部、純資産の部				
<p>返済期限が1年以上の借入金のことです。</p> <p>2022年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。</p> <p>返済期限が1年以内の借入金です。</p> <p>翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などの額のことです。</p> <p>財産的な基盤を確保する額のことです。学校法人を安定的かつ永続的に経営していくために必要な額です。</p>	科目			
	固定負債	886,273	880,782	5,491
	長期借入金	0	0	0
	長期未払金	59,336	29,002	30,334
	退職給与引当金	826,938	851,780	△ 24,842
	流動負債	395,076	390,761	4,316
	短期借入金	0	0	0
	未払金	71,027	61,322	9,705
	前受金	278,973	274,628	4,345
	預り金	36,767	36,744	23
修学旅行費預り金	8,309	18,067	△ 9,758	
計	1,281,350	1,271,543	9,807	
<p>純資産</p>	基本金	11,032,033	10,833,366	198,667
	繰越収支差額	△ 2,040,761	△ 1,429,809	△ 610,952
	計	8,991,272	9,403,557	△ 412,285
合計	10,272,622	10,675,101	△ 402,479	

2023年度の事業計画である1号館GHP空調機更新工事、中庭テーブルセット設置、高圧引込電柱更新工事、ガス空調更新工事(中高)、無線ネットワーク整備工事、遊具設置工事(幼稚園)等を行いました。6号館・図書館空調システム更新工事については、建設仮勘定に計上しております。

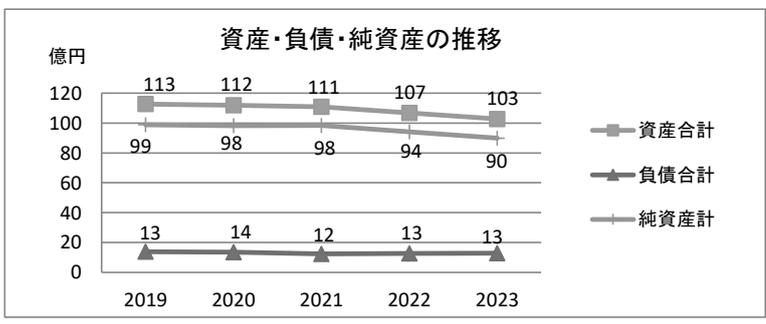
年度末退職者への退職金財団及び福岡県私学教育振興会からの給付金、国・県・市からの補助金・助成金等を未収入金として計上しています。

現在、借入金はありません。

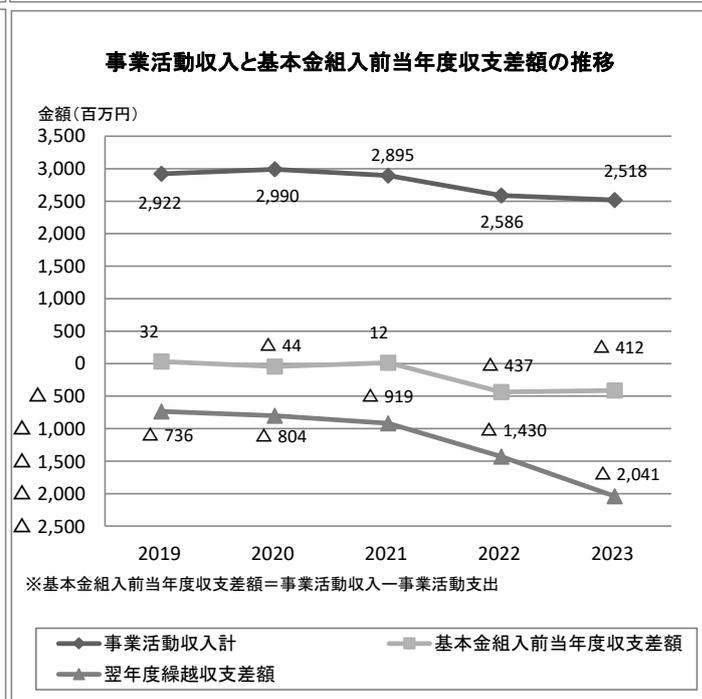
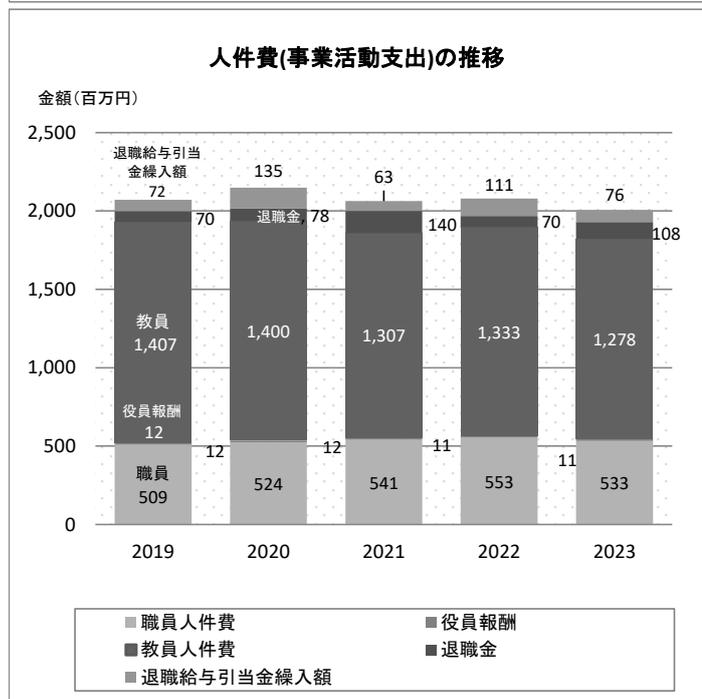
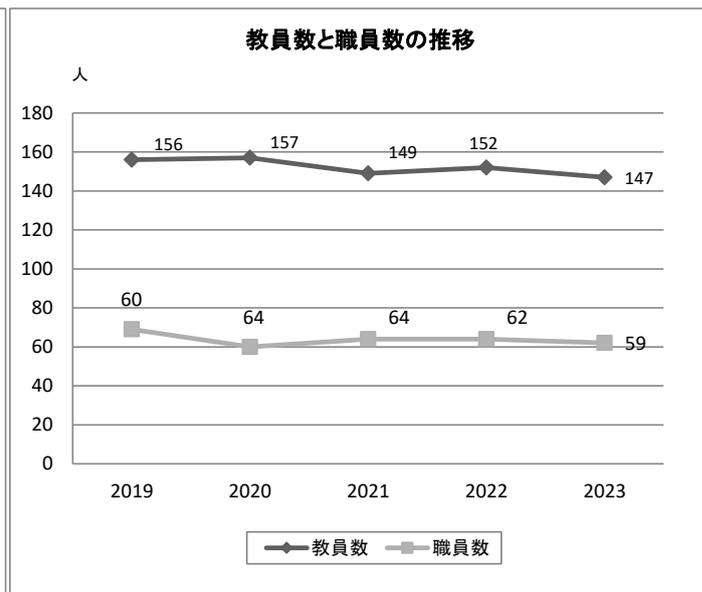
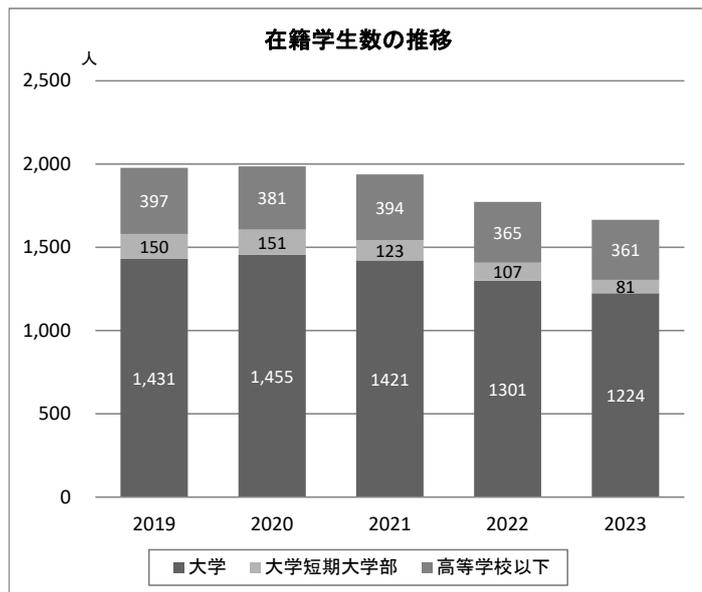
負債が981万円増加しました。

純資産が4億1,229万円減少しました。

減価償却額の累計額	5,400,696	5,293,285	107,411
基本金未組入額	86,564	50,327	36,237



(5) 学生数・財務比率などの推移



計算書類について

資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、教育・研究活動(教育活動)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態を表すものです。

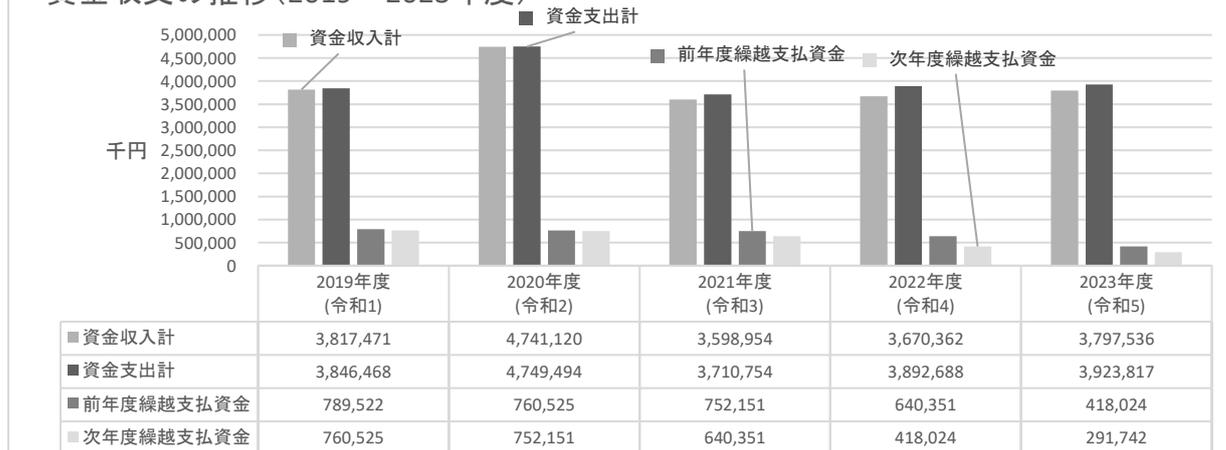
○ 資金収支の推移(学校法人)

ア) 資金収支の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	2,078,598	2,085,612	1,982,524	1,804,966	1,718,858
	手数料収入	33,337	26,376	25,433	26,244	22,736
	入学検定料	29,458	23,908	21,950	22,729	20,079
	寄付金収入	149,612	50,107	49,658	42,442	40,188
	補助金収入	482,615	622,017	582,295	540,993	521,344
	資産売却収入	0	0	0	0	0
	附属事業・収益事業収入	21,913	11,964	20,863	22,193	24,036
	受取利息・配当金収入	27,170	22,939	18,163	18,428	19,623
	雑収入	128,208	153,212	162,308	128,881	166,803
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	前受金収入	382,560	329,677	285,707	274,628	278,973
	その他の収入	1,047,965	1,994,286	969,167	1,207,596	1,431,324
	資金収入調整勘定	△ 534,507	△ 555,069	△ 497,164	△ 396,010	△ 426,351
	資金収入計	3,817,471	4,741,120	3,598,954	3,670,362	3,797,536
	前年度繰越支払資金	789,522	760,525	752,151	640,351	418,024
合 計	4,606,993	5,501,645	4,351,105	4,310,712	4,215,560	
支 出 の 部	人件費支出	2,081,334	2,114,603	2,069,566	2,046,994	2,031,097
	教育研究経費支出	490,502	580,271	525,070	600,140	597,510
	管理経費支出	158,407	105,462	123,062	164,561	144,164
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
	施設関係支出	171,406	129,096	94,872	39,648	205,991
	設備関係支出	67,635	33,808	34,198	48,487	86,062
	資産運用支出	73,547	1,022,530	131,217	264,632	63,800
	その他の支出	881,756	801,380	768,264	789,561	900,881
	資金支出調整勘定	△ 78,120	△ 37,657	△ 35,495	△ 61,335	△ 105,689
	資金支出計	3,846,468	4,749,494	3,710,754	3,892,688	3,923,817
	次年度繰越支払資金	760,525	752,151	640,351	418,024	291,742
合 計	4,606,993	5,501,645	4,351,105	4,310,712	4,215,560	

資金収支の推移(2019～2023年度)



○ 資金収支の推移(学校法人)

イ)活動区分資金収支の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,833,347	2,905,769	2,796,260	2,559,412	2,492,180
教育活動資金支出計	2,729,624	2,799,832	2,716,114	2,810,784	2,772,759
差引	103,722,557	105,938	80,147	△ 251,372	△ 280,579
調整勘定等	56,664	△ 83,037	△ 56,916	20,956	△ 32,377
教育活動資金収支差額	160,386	22,901	23,231	△ 230,417	△ 312,956
施設整備等活動による資金収支					
施設整備活動資金収入計	60,808	522,923	24,774	744	281,786
施設整備活動資金支出計	240,043	628,310	130,072	98,136	302,054
差引	△ 179,235	△ 105,386	△ 105,298	△ 97,392	△ 20,268
調整勘定等	17,151	12,768	7,352	23,521	36,486
施設設備等活動資金収支差額	△ 162,084	△ 92,618	△ 97,945	△ 73,871	16,219
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 1,697	△ 69,717	△ 74,714	△ 304,287	△ 296,738
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	881,712	1,369,379	817,567	1,064,976	1,062,902
その他の活動資金支出計	909,012	1,308,036	854,653	983,015	892,446
差引	△ 27,300	61,343	△ 37,086	81,961	170,456
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 27,300	61,343	△ 37,086	81,961	170,456
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 28,997	△ 8,374	△ 111,800	△ 222,327	△ 126,282
前年度繰越支払資金	789,522	760,525	752,151	640,351	418,024
翌年度繰越支払資金	760,525	752,151	640,351	418,024	291,742

活動区分の種類

活動区分	説 明
教育活動	学校法人の本業である教育活動の収支を中心として、「施設整備等 活動」および「その他の活動」以外のすべての資金収入および資金支出
施設整備等活動	施設もしくは設備の取得または売却、その他、資産価値の増加を伴う改修等にかかる資金収入および資金支出
その他の活動	財務活動、収益事業活動、経過勘定、過年度修正額

○ 事業活動収支の推移

(教育活動収支)

(単位：千円)

科 目	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
学 生 生 徒 等 納 付 金	2,078,598	2,085,612	1,982,524	1,804,966	1,718,858
手 数 料	33,337	26,376	25,433	26,244	22,736
寄 付 金	149,612	50,107	49,658	42,617	40,739
経 常 費 等 補 助 金	421,807	578,499	557,521	540,249	519,558
付 随 事 業 収 入	21,913	11,964	20,863	22,193	24,036
雑 収 入	128,297	154,421	213,583	124,494	166,803
教 育 活 動 収 入 計	2,833,564	2,906,979	2,849,583	2,560,763	2,492,731
人 件 費	2,071,783	2,159,478	2,063,232	2,079,528	2,006,254
教 育 研 究 経 費	641,376	739,059	689,716	768,195	768,515
う ち、 減 価 償 却 額	151,138	158,350	164,106	167,402	170,644
管 理 経 費	162,475	109,826	125,619	168,026	149,742
う ち、 減 価 償 却 額	4,678	5,017	5,110	4,965	4,867
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	2,557	860	874	2,259	765
教 育 活 動 支 出 計	2,878,191	3,009,223	2,879,442	3,018,008	2,925,276

(教育活動外収支)

受 取 利 息 ・ 配 当 金	27,170	22,939	18,163	18,428	19,623
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	0	0
教 育 活 動 外 収 入 計	27,170	22,939	18,163	18,428	19,623
借 入 金 等 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	0	0
教 育 活 動 外 支 出 計	0	0	0	0	0

(特別収支)

資 産 売 却 差 額	0	15,000	0	0	0
そ の 他 の 特 別 収 入	61,749	45,162	27,540	6,975	5,908
特 別 収 入 計	61,749	60,162	27,540	6,975	5,908
資 産 処 分 差 額	11,744	34,099	2,018	3,983	5,259
そ の 他 の 特 別 支 出	618	506	1,584	911	13
特 別 支 出 計	12,362	34,605	3,602	4,895	5,272

基本金組入前当年度収支差額	31,930	△ 53,747	12,241	△ 436,738	△ 412,286
経常収支差額	△ 17,457	△ 79,304	△ 11,696	△ 438,818	△ 412,922
教育活動収支差額	△ 44,627	△ 102,244	△ 29,859	△ 457,246	△ 432,546
教育活動外収支差額	27,170	22,939	18,163	18,428	19,623
特別収支差額	49,387	25,557	23,938	2,080	637
基本金組入額合計	△ 127,158	△ 122,257	△ 117,610	△ 75,192	△ 199,423
当年度収支差額	△ 95,229	△ 176,004	△ 105,368	△ 511,929	△ 611,708
前年度繰越収支差額	△ 641,211	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809
基本金取崩額	493	98,262	0	1,178	756
翌年度繰越収支差額	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809	△ 2,040,761

(参考)

事業活動収入計	2,922,483	2,990,080	2,895,285	2,586,165	2,518,263
事業活動支出計	2,890,553	3,043,827	2,883,044	3,022,903	2,930,548

事業活動収支の推移(2019～2023年度)



	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
■ 基本金組入前当年度収支差額	31,930	△ 53,747	12,241	△ 436,738	△ 412,286
■ 当年度収支差額	△ 95,229	△ 176,004	△ 105,368	△ 511,929	△ 611,708
■ 翌年度繰越収支差額	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809	△ 2,040,761

○ 貸借対照表の推移(学校法人)

(単位：千円)

資産の部						
科 目	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
固 定 資 産	10,206,007	10,333,667	10,258,997	10,270,171	10,138,413	9,823,078
有 形 固 定 資 産	5,259,862	5,331,771	5,325,596	5,284,152	5,196,604	5,312,010
特 定 資 産	4,913,010	4,968,131	4,896,265	4,950,146	4,896,654	4,475,849
そ の 他 の 固 定 資 産	33,135	33,765	37,135	35,873	45,155	35,218
流 動 資 産	987,245	933,117	928,446	811,899	536,687	449,544
合 計	11,193,252	11,266,785	11,187,443	11,082,070	10,675,101	10,272,622

負債・基本金及び繰越収支差額の部						
科 目	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和1)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
負 債	1,343,380	1,384,983	1,359,389	1,241,774	1,271,543	1,281,350
固 定 負 債	869,143	886,480	922,746	850,418	880,782	886,273
流 動 負 債	474,237	498,503	436,642	391,357	390,761	395,076
基 本 金	10,491,083	10,617,749	10,641,743	10,759,353	10,833,366	11,032,033
繰 越 収 支 差 額	△ 641,211	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,808	△ 2,040,761
純 資 産 の 部 合 計	9,849,872	9,881,802	9,828,053	9,840,295	9,403,558	8,991,272
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	11,193,252	11,266,785	11,187,443	11,082,070	10,675,101	10,272,622

減価償却額の累計額の合計	4,810,622	4,895,613	5,000,281	5,144,812	5,293,285	5,400,696
基本金未組入額	32,587	67,212	62,721	51,330	50,327	86,564



主な財務比率等の推移

(1) 事業活動収支計算書関係比率

(単位:%)

分類	財務比率	算式	評価	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△	-0.8	0.3	1.1	-1.8	0.4	-16.9	-16.4
		事業活動収入計								
収入構成は どうなっているか	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金	△	73.9	72.2	72.7	71.2	69.1	70.0	68.4
		経常収入(※1)								
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金	△	1.5	1.4	5.2	1.7	1.7	1.7	1.6
		経常収入								
経常費補助金比率	経常費補助金	△	15.4	16.8	14.7	19.7	19.4	20.9	20.7	
	経常収入									
支出構成は適切か	人件費比率	人件費	▼	74.6	72.9	72.4	73.7	71.9	80.6	79.9
		経常収入								
	教育研究経費比率	教育研究費	△	23.5	22.7	22.4	25.2	24.1	29.8	30.6
		経常収入								
管理経費比率	管理経費	▼	4.7	5.3	5.7	3.7	4.4	6.5	6.0	
	経常収入									
収入と支出の バランス	人件費依存率	人件費	▼	100.9	100.9	99.7	103.5	104.1	115.2	116.7
		学生生徒納付金								
	基本金組入後収支比率	事業活動支出	▼	106.9	102.7	103.4	106.1	103.8	120.4	126.4
		事業活動収入計-基本金組入額								

※1 経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

(2) 貸借対照表関係比率の推移

分類	財務比率	算式	評価	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
自己資本は 充実しているか	純資産構成比率	純資産	△	87.4	88.0	87.7	87.8	88.8	88.1	87.5
		負債+純資産								
	基本金比率	基本金	△	99.8	99.7	99.4	99.4	99.5	99.5	99.2
資産構成は どうなっているか	流動資産構成比率	流動資産	△	8.8	8.8	8.3	8.3	7.3	5.0	4.4
		総資産								
負債に備える資産が 蓄積されているか	流動比率	流動資産	△	184.6	208.2	187.2	212.6	207.5	137.4	113.8
負債の割合は どうか	負債比率	流動負債	▼	14.4	13.6	14.0	13.8	12.6	13.5	14.3
		総負債								
将来の安全性	積立率	純資産	△	99.0	97.1	96.2	93.8	91.5	84.3	74.5
		運用資産(※1)								
		要積立額(※2)								

※1 運用資産=現金預金+特定資産+有価証券

※2 要積立額=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金

評価基準 「△」: 値は高い方が良い。「▼」: 値は低い方が良い。